

指定管理者総合評価シート

様式 4

施設名	成田市地区公園、近隣公園、街区公園(三里塚記念公園外141施設)		
指定管理者	公益財団法人 成田市スポーツ・みどり振興財団		
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日	～ 令和 8 年 3 月 31 日	5 年目
施設所管課	都市 部		公園緑地 課

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価	
Ⅰ 実施体制に関する評価	施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	—	—	
	人員体制	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	A	A	
		スタッフのシフトは適正であるか	A	A	
		事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか	A	A	
	利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか	—	—	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か	A	A	
		外部委託事業者に対して協定書等を遵守させているか	A	A	
	記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	A	A	
		点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	A	A	
	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか	A	A	
	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	A	A	
		危機管理	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	A	A
			避難経路は適切に確保されているか	—	—
	個人情報保護	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	A	A	
		個人情報等の管理は適切か	A	A	
		個人情報保護に関する規程が整備されているか	A	A	
	情報公開	情報漏えいを防止する仕組みや対応策が構じられてるか	A	A	
		情報公開に関する規程が整備されているか	A	A	
	その他	協定書等に従い、情報を適切に管理しているか	A	A	
		【総括 Ⅰ】	実施体制の履行状況に関する評価(標準 19 項目・本施設 16 項目)	A	
		指定管理者の自己評価	協定書に基づき、施設点検及び修繕を積極的に実施しました。 公園内での緊急対応等、職員間でSNSを活用し情報の共有化を図り対処しました。		
		施設所管課の評価	協定書に基づいた点検、修繕に加え、水道の凍結、蜂の対処をはじめとした緊急対応を迅速に行うことができていた。		

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅱ サービスの内容や水準に関する評価	利用者対応	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	A	A
		言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	A	A
	利用案内	ホームページは計画どおりに運用されているか	A	A
		利用方法をわかりやすく説明できる仕組みが構築されているか	A	A
	利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	—	—
		利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか	A	A
	事業の実施	事業計画書に則し、指定事業を実施しているか	A	A
		施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	A	A
		各事業の参加者数は、計画どおりであるか	A	A
		参加促進への取組を積極的に実施しているか	A	A
	環境への配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされているか	A	A
	苦情等の対応	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	A	A
	利用者への調査	利用者満足度調査を実施し、その結果は妥当であるか	A	A
		利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	A	A
	維持管理	施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	A	A
		日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか	A	A
		備品台帳により記録が適切に保管されているか	A	A
		市と指定管理者の備品が明確に区別されているか	A	A
		必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	A	A
	その他			
	【総括 Ⅱ】	サービス等の内容や水準に関する評価(標準 19 項目・本施設 18 項目)	A	

指定管理者総合評価シート

様式 4

Ⅱ 評価	指定管理者の自己評価	近隣の住民や自治会等の要望に考慮し、樹木剪定・伐採を行いました。 遊具修繕については、担当課と協議し遊具の修繕を実施しました。 園内灯が故障した場合は、LED電灯に変更し省エネルギー化を図っています。
	施設所管課の評価	予算の範囲内で緊急性等を考慮した優先順位付けをした上で樹木、遊具の管理を行うことができていた。

評価項目		評価基準	自己評価	所管課評価
Ⅲ 収支等に関する評価	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	A	A
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	A	A
		料金徴収、減免、還付の手続は適切に処理していたか	A	A
	予算執行	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	A	A
		収支計画と事業計画の整合はとれていたか	A	A
	経費節減	経費削減に向けた取組を積極的に実施し、その効果が上がったか	A	A
	その他			
	【総括 Ⅲ】	収支等に関する評価（標準 6 項目・本施設 6 項目）	A	
	指定管理者の自己評価	適正に経理事務・予算執行・経費削減に取り組んでおります。		
	施設所管課の評価	限られた予算を適正に執行するため、公園内の不具合に対し緊急性等を考慮した優先順位を付け対応をしていた。また、水道の凍結防止等の事前策を天気予報などを確認し行うことで、修繕費の削減につなげていた。		

評価項目		評価基準/目標は達成されたか	数値目標	自己評価	所管課評価
Ⅳ 目標管理に関する評価	目標①	経年劣化や不具合力所等を所轄課へ報告し事故防止に努めました。		A	A
	目標②	光熱費の削減に努めます。		A	A
	目標③	緑化推進事業の開催（寄せ植え等）を年間4回予定します。		A	A
	【総括 Ⅳ】	目標管理に関する評価（標準 3 項目・本施設 3 項目）			A
	指定管理者の自己評価	担当課と相談し、不具合力所等を迅速に修繕出来るよう努めました。 また、利用者の目線に立って考え、その公園内で何が優先的に必要とされているかを考え、対応してまいりました。			
	施設所管課の評価	月に1回行われる定例の打ち合わせにおいて不具合箇所の報告を受け、必要に応じ修繕を行うための体制が整えられていた。また、その報告にあたっては利用者の視点に立った説明を行っていた。			

V	【総合評価】	I ～Ⅳの総括による総合評価	A
---	--------	----------------	---

Ⅵ 特記事項	特に評価される点	公園内の不具合や悪天候等への事前準備、迅速な当日対応に向けた管理体制を確立している点等に加え、これまでの実績から、今後も公園の維持管理に関し信頼できる。
	改善が望まれる点	開設後数十年経過した公園が数多く存在するため、修繕等の対策が必要な公園施設は今後多くなることが予想されることから、今後より一層、公園施設の点検を強化することが望ましい。